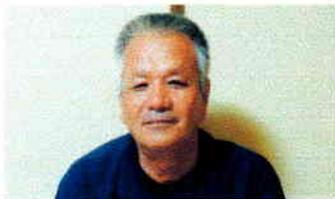


今月の寺ともさん 小松 英市さん



今月の寺ともさんは、小松英市さんです。小松さんは、今から7年前の平成21年に、瑞宝単光章という勲章を受けました。平成15年の閣議決定「勲章の授与基準」によれば、公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、職務をはたし成績をあげた人に対して、瑞宝単光章以上を授与するとなっています。県内でも、こうした専門職で表彰される

のは、1年にほんの僅かです。小松さんは、電気・水道・農業プラント設備などを手掛ける会社に長年勤務され、そこでの専門工事業務に対する功労が評価されました。もともとそちらに進むキッカケになったのは、ちょうどご親戚が電器屋さんを営んでおられた影響もあったそうです。コツコツとひたむきに、お客様に喜んでもらえるように努力する取り組み姿勢が報われ、大変光栄に思っておられます。

平成5年には、香川県知事からこの専門業務に対する感謝状が寄せられ、平成7年には当時の建設大臣からも表彰され、そして勲章を受けることになったのです。皇居の広間で、天皇陛下からねぎらいのお言葉を頂いたことは、忘れられない思い出です。「一意専心」という言葉がぴったりの小松さん、これからも元気でご活躍下さい。

***** ご自慢のペットちゃん *****



名前：虎徹（こてつ）
性別：♂
お年：1歳半
種類：きじトラMIX
好物：刺身
苦手：爪切りされること
住所：宮内さん宅(高松市)
性格：男性になつく



ご自慢のペットちゃん
募集中だにゃん!

エピソード：アニメ作品・タイガー&バニーのキャラクターかぶらぎ 鏑木 T 虎徹こてつから、虎徹と名づけられました。とにかく元気がよくて好奇心旺盛です。カメラを向けても全然平気ですし、お風呂が何より大好きで、湯船につかります。水もへっちゃらです。かと思うと、後からやって来た幼い猫に、トイレの作法を教えるなど、とっても面倒見の良い兄貴分です。爪切りは大の苦手ですが、宮内家の王様です。

総代の本川です。書店で終活ハウツー本をよく見かけるようになりましたが、死生観の持ち方までは教えてくれません。五木寛之氏は、近著「玄冬の間（ベスト新書）」で自らの死生観を語ります。

「生が終わると、自分を自分であらしめた生命エネルギーが、大河の一滴となり、海のように広大な生命体に溶け込み、そこからまた新しい命が生まれる。生命は循環する」。続いて、五木氏一流の「生き方（逝き方）レッスン」が始まります。

「俳句・川柳のように、気軽に宗教・信心を楽しもう」。「死後の世界に思いをはせ楽しもう」。「良い思い出を、寝る前に繰り返し回想し楽しもう」。「孤独に慣れ、自由に一人を楽しもう」、などなど。結びは「置かれた場所で散りなさい」。咲くことのみ求め迷う無智な現代人に、心の持ち方ひとつで老・病・死も、それなりに楽しめるとの五木氏84才からのメッセージ。みなさまの、味わいはいかがでしょうか。

